



浜松観光ボランティアガイドの会

新年の御挨拶



「浜松の観光大使」としてのプライドと愛情を

浜松観光ボランティアガイドの会 副会長 小池孝幸 (中ブロック)

明けましておめでとうございます。会員の皆様には健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。日頃よりガイド活動をはじめ、会の行事や運営に多大なる貢献をいただき、誠にありがとうございます。

去年は3年続いたコロナ禍から解放されたこと、浜松がNHK大河ドラマ「どうする家康」の舞台になったことから、私たちの活動拠点「浜松城」や「犀ヶ崖資料館」への来客が多く、関連イベントへの対応を含めて大変忙しい年になりましたが、会員の皆様のパワーとご協力により無事に乗り切ることができました。厚く感謝申し上げます。

さて、年の初めに私たちの会の原点は何かを、改めて考えてみました。

私たちは会則の第2条で「会の目的」を定めております。すなわち「本会は、浜松市の観光行政に協力し、観光事業の振興発展に寄与する 云々」と。この目的をさらに敷衍(ふえん)するならば、私たちの活動拠点にお越しくださるお客さまに対して、「浜松をもっと知ってもらおう」「浜松のすばらしさをもっと感じてもらう」「浜松をもっと好きになってもらう」いわば「浜松の観光大使」的な役割を果たすことではないかと思えます。

今年も、浜松の歴史、自然、文化、産業を学びながら、「浜松の観光大使」の気持ちで、プライドと愛情をもって楽しく活動を推し進めましょう。今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



「龍」ライブペイント「白糸マルシェ」にて



2024年は龍年！画像は「白糸マルシェ(富士宮市)」のライブペイントで龍を描いていた天竜区春野町在住の玉城博香さんとその作品。

「龍」は、雨の中描いた作品で、溶けていく絵の具の上から足しながら、5時間かけて書き上げたそうです。

ライブペイントでは「世界一だと思ふこと」を一番大切に

し、自分を飾らずとことんわがままに、勢いで絵の具を投げつけたり、時に踊ったりもします。

彼女自身でも様々なイベントを企画し、春野町を拠点に浜松を盛り上げてくれています。

広報部 久保田絢子 (中ブロック)

「富士山の日記念ウォーク」募集開始！

浜松観光ボランティアガイドの会
富士山の日記念ウォーク

もっと知ろうよはままつ！
ボランティアガイドと一緒に

2月23日は富士山の日

『いかまいか 佐鳴湖！』ぐるりと一周 ぶらりと散策

水と湖のオアシス
魅力発信 見えるかな 富士山、河津桜、カワセミ、ミサゴ (野鳥の観察)

旧跡 伊能忠敬碑、佐鳴八景歌碑、小敷船着き場跡、浜松城ゆかりの(残念石)
その他。。。 はままつ案内人がガイド説明し歩いて回るコースです！

日時 2月23日(金) 祝日 ※雨天中止 参加費無料
9:00~12:00 ※(最終~9:10まで) 10人以内の集まり次第順次出発します。
※防寒着、雨さ対策(防寒着、帽子、飲料水、歩きやすい服装)各自の責任でお願いします。

注意事項 富塚花見台駐車場 ※(駐車場に限りがあります。公共交通機関を利用して下さい)
(西区大平台1丁目4付近)

定員 60名 ※事前申込み要(定員を超えた場合は抽選)
申込期限 ~2/13日(火) ※必着
申込方法 下記①②往復はがき ②インターネット

①往復はがき 郵送の場合
宛先 〒432-8014 浜松市中区愚谷町25-10 犀ヶ崖資料館 気付
浜松観光ボランティアガイドの会 行

②インターネットの場合
(1)アドレス <https://forms.gle/wgEJK1FYy6LoBISy9>
(2)右のQRコード(参加申込みフォーム)から直接申込ができます。
(3)①の共通項目
2/23ウォーク・年・住所・氏名・電話番号・この行事をどのように知りましたか
※ 2月16日(金)までに抽選の結果を連絡します。 参加申し込みフォーム

問い合わせ先
TEL 053-456-1303
メールアドレス mail@hama-svg.jp
hp <http://www.hama-svg.jp>
主催 浜松観光ボランティアガイドの会
共催 静岡県・浜松市

25 期生フォローアップ研修と懇談会

12月2日(土)に25期生フォローアップ研修と懇談会が行われました。9時に大手門跡に25期生14名が集合して、説明役の鈴木会長と大見副会長の2グループに分かれて、イチョウの落葉を踏みしめながら秀吉時代の東海道と言われている榎町・横町を南下しての街歩き研修です。五社小路、諏訪小路、若宮小路、松尾小路を進みながら町の歴史を学び、若宮神社、松尾神社、東漸寺等に立ち寄り、参加者は説明を熱心に聞いていました。法林寺には南側の正面口から入り、野口雨情の「曳馬の筆」の歌碑等を見学しました。これまで何回かの研修で立ち寄った西導寺(廃寺)が更地になって駐車場に利用されていたことには驚かされました。その後、成子交差点付近の西番所跡でUターンして道路工事がなかなか終わらない江戸時代の東海道(現在は



若宮神社での説明

257号線)を北上して、伊藤平佐衛門、杉浦惣兵衛、梅谷市左衛門の各本陣跡を經由して10時過ぎにザザシティ浜松に到着しました。



ザザシティ浜松での懇談会

ザザシティ浜松中央館5階の小会議室にて、お菓子司あおいの名物「小豆餅」とお茶で一休みしてから、役員と事務局員5名を交えての懇談会を行いました。25期生から新会員としての半年間のガイド活動に対して「駅からドラマ館までの同行ガイドはお客様と接する時間が長いのでやりがいがあった」「充実した新人研修のおかげで、浜松の知識が豊富になった」「ユニホーム着用でお客様に気軽に声掛けができるようになった」

「お客様に説明した後に、お客様からお礼を言われて嬉しかった」「外国人にガイドできるようになりたい」等の感想がありました。また、専門部の活動、浜松城でのガイド活動範囲等に関して活発な意見や要望があり、頼もしさを感じました。懇談会での貴重な意見を今後の運営に反映したいと思います。

事務局長 春日康治(西ブロック)

大好評 出世大名康くん マンホールカード 配布開始

浜松市下水道工事課が浜松市でマンホールカードの2種類目となる「出世大名康くん」を発行しました。このカードの配布場所が犀ヶ崖資料館となり、12月15日(金)から配布を開始しました。初日は平日にもかかわらずカード目当てのお客様が149名来館しました。土日には関西圏、関東圏の遠方から価値ある初版カード目当てのマニアの来館が途切れませんでした。12月末までに初版の2000枚の配布が完了しました。このデザイン(出世大名康くん)の実物マンホール蓋は浜松市役所前交差点の歩道(ブラジル領事館前とセブンイレブン跡前)とソラモの新浜松駅東口にあり。ソラモには浜松市観光インフォメーションセンターにて配布しているもう一つのカード「出世大名康くんと出世法師直虎ちゃん」のマンホール蓋があります。浜松市のマンホールカードの配布場所はそれぞれ1カ所のみです。全国で約1000種類のカードがあるようです。

犀ヶ崖資料館での活動にマンホールカード配布が増えましたが、マンホールカード配布を機会として犀ヶ崖古戦場へも関心が増すことを期待したいです。



出世大名康くん
(犀ヶ崖資料館)

家康くんと直虎ちゃん
(インフォメーションセンター)

事務局長 春日康治(西ブロック)

12月19日(火)南ブロックは、遠鉄西鹿島線と天竜浜名湖鉄道の「共通1日フリー切符」で浜名湖北部の文化財を巡りました。天浜線は、戦時下で建設された旧国鉄二俣線以来の施設がいまだに使われていて、降車した駅全部で国の登録有形文化財のプレートが見られました。特に目を引いたのは金指駅構内の高架貯水槽でした。蒸気機関車が運行されていた当時の給水施設がそびえています。

訪問先は、①初山宝林寺(仏殿・方丈：国重文)②気賀関所③浜名惣社(本殿：国重文)④初生衣(うぶぎぬ)神社でしたが、紙面の関係で、報告は初山宝林寺と浜名惣社に絞ります。



住職より宝林寺の由緒を聞く

《宝林寺》住職の関塚様自ら案内をしてくださいました。金指近藤家の菩提寺であり、隠元禅師に従い明国から来朝した独湛禅師に帰依した近藤貞用が開基した「臨済宗黄檗(おうばく)派」の寺だそうです。現在は黄檗宗と呼ばれていますが、黄檗派の伝えたものは数々あるそうです。インゲンマメをはじめレンコン、イチジク、スイカ、さらには煎茶、食卓等々、私たちの日常にすっかりなじんでいることを改めて知りました。

国重文の仏殿は中国式で床は黒い瓦敷き。濃い朱色の本尊釈迦如来を囲む二十四天善神立像の中には天照大神や関羽の姿も。住職の説明では、民衆を教化するうえでそれぞれの地域の守り神を尊重し祀ったことによるとのこと。他にも基本的に中国語でお経をあげる、仏像の表情が日本の伝統的な仏像とは違うことなど驚きの連続でした。

《浜名惣社神明宮》こちらでも禰宜(ねぎ)の鈴木様自ら案内をしてくださいました。伊勢神宮神領の中心地には、神明宮があるとのこと。伊勢神宮への貢進品を収めた倉であったといわれる古い建築様式「板倉造」の本殿を特別に参拝させていただきました。高い石階段上に伊勢神宮を向いて建つ本殿は掘立て柱ではなく、湿気を防ぐため、棟持ち柱を含め石の礎石の上に建てられていました。

過去に訪ねたことがある場所でしたが、当会の研修ということで、住職や禰宜自らの丁寧なお話が聞け、特別な建物にも入れていただきありがたく感じました。

広報部 馬淵 豊(南ブロック)

1年間を振り返って今の気持ちは?・・・北ブロック25期生の皆さん

北ブロック12月例会終了後に、昨年4月に入会した25期生5人に、北部協働センター1階ロビーに集ってもらい、座談会形式で入会から9か月、新人研修から1年を振り返って今の気持ちをインタビューしました。

Q:自主勉強は何かしましたか?

A:「新人研修だけで十分役に立ちましたね」「最初の頃はネットやテレビや本で少しずつ勉強しました」「お客のふりしてこっそり先輩ガイドの活動を見に行き、ガイドの仕方を勉強させてもらったこともありました」

*現地でのこっそり見学は、北ブロック当番以外の時にも行ったそうです。見られていたかもしれない会員の皆様にはこの場を借りてお礼申し上げます。

Q:実際にガイド始めたときの気持ちは?

A:「とくに緊張はしませんでした」「どちらから来ましたかとか、写真撮るならこちらがおすすめですなどこちらから積極的に話しかけようと思っていました」

*最初からアグレッシブだった様子が分かりました。

*即答できない難しい質問などには、「まだ新人なので」と臆せず答えているとのこと。

Q:ガイド活動で印象に残っている出来事・感想などありますか?

A:「浜松駅当番の時の質問は予想外のことが多いですね。たとえば、バスターミナルまでお客さんを案内した帰りに、ベトナムの方からベトナム語で、切符のことを質問されて困惑しました」「夏の浜松城は暑いけど3階の展望台だけは風がよく通って涼しいのが印象的でした」「来場者が多過ぎて、自分の居場所が分からなくて戸惑いました」「犀ヶ崖資料館では勝軍地蔵に礼拝する家康公マニア?の方がいてびっくり」

*インタビューを通して、皆さんとにかく前向きで積極的な姿勢でガイド活動に臨んでいることがよく分かりました。今日インタビューした25期生の皆さん、北ブロックに来てくれてありがとうございます。

来期のさらなる活躍を楽しみにしています。

広報部 都築厚好(北ブロック)



北ブロック25期生のみなさん

会員の交流広場



浜松城のお稲荷さん伝承



浜松城天守曲輪北東隅にあざやかな赤色が目を引くお稲荷さんが祀られている。出世城にあやかろうと現在も多くの方が手を合わせているが、この稲荷の由来について調べてみると浜松城に稲荷の伝承が残されていることが分かった。

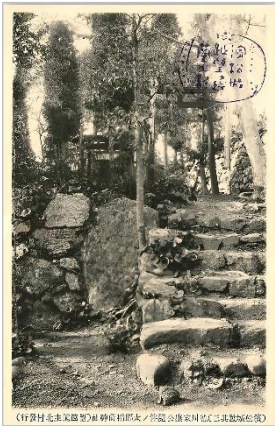
現在の稲荷が設置されたのは昭和 33 年 9 月で正式名称は「白龍神伏見太郎稲荷」という。同年 4 月に天守閣が建設され、次は浜松城の守り神を祀るものが必要と考えた個人の方により設置されたが建っているのは市有地になる。現在も年に数回、近隣の住職に拜んでもらうなど個人の方が管理を続けている。

浜松城と稲荷については、家康公が信仰した稲荷が浜松城内にあったという伝承が残されており、普濟寺の北山稲荷の石碑にも家康公が三方ヶ原の戦いの際にお稲荷様のご加護を受け武田方に一矢を報いることができたため信仰を厚くし、浜松城に千代吉稲荷を祭祀したと記されている。



浜松城天守閣とお稲荷さん

家康公が浜松を離れた江戸時代も浜松城内に稲荷は存在していたようで、御城内五社旧跡拝礼覚(1748～1750 年頃)や安政の絵図(1854 年)にも二ノ丸北西隅の五社松周辺に稲荷が描かれている。江戸時代にあった稲荷は大正 14 年編さんの「浜松市史」によると城主歴代崇奉の社として城内の花畑(浜松城二の丸北側)に鎮座し明治 7 年 4 月に三組町の神明宮に合祀されているという。



稲荷の絵葉書

明治以降にも地元の人により浜松城内に稲荷は設置され、「徳川家康公随伴ノ太郎稲荷神社」と題名が付いた古い絵葉書では現在の場所より一段低い西側に稲荷があったことが確認できる。

浜松城周辺の伝承というと鎧掛松が有名でお客様を案内することも多いが、稲荷の伝承についてはあまり知られていない。

現在の稲荷と過去の稲荷との関係性や家康公をはじめとした浜松城主とのつながりは必ずしも明らかでない。しかし、幾度も稲荷が設置されていることから稲荷やそれにまつわる伝承を引き継いでいこうとする先人たちの思いがそこにはあり、失われつつあるこの伝承を残していく必要を感じた。

西ブロック 磯部雅延

～訂正とおわび～

はままつ案内人会報 12 月号 (257 号) 1 ページに誤りがありましたので訂正しておわびいたします。
下から 5 行目 誤：雨宮神社 ⇒ 正：天宮神社

12 月のガイド活動 《明るく楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。またこの 3 カ所の他に「浜松市観光インフォメーションセンター(浜松駅構内)」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

《浜松城》

16 日 土 HIS 関西 5 名

《浜松まつり会館》

1 日 金 デザイン分科会 17 名
3 日 日 長野県シニア大学木曾学部 42 回生 19 名
14 日 木 浜松市立和田東小学校 49 名

《犀ヶ崖資料館》

3 日 日 吉江志友会 10 名
5 日 火 駿河郷土史研究会 20 名
8 日 金 藤枝特別支援学校 10 名
10 日 日 なゆたトラベルサービス 17 名
12 日 火 青色 21 ネットワーク研究会 22 名

はままつ案内人会報 258 号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会
〒430-0946 浜松市中央区元城町 100-2 (浜松城内)
TEL 053-456-1303
メールアドレス mail@hama-svg.jp
ホームページ http://www.hama-svg.jp/

はままつ案内人

検索



家康公ゆかりの地